

事業所名		ゆめキッズ2（児童発達支援）				支援プログラム（参考様式）		作成日		R8	年	3月	20日
法人（事業所）理念		安心安全。笑顔の毎日に。											
支援方針		小学校入学までに、日常生活における基本的動作や知識技術を習得し、集団生活に適応できるよう支援する											
営業時間			9時	00分	から	17時	00分	まで	送迎実施の有無		あり		
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	衣服の着脱、食事スキル、排泄の自立など、基本的な身辺自立スキルの習得を目指す。											
	運動・感覚	粗大運動・・・姿勢・移動・体づくり・ジャンプ・ボール 微細運動・・・つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・はめる・つまむ・とおす・はる・ぬる・はめる・はる・こする・描く・切る 体 育・・・体ほぐし運動・多様な動きを作る運動・マット・跳び箱・鉄棒・走の運動・跳の運動											
	認知・行動	身体部位・色・比較・位置・分類・感情概念・時間概念・数・四則演算・図形に関する支援実施 マッチング、身の回りの物事の知識と理解、概念、記憶、思考力などを養う課題や、読み書き計算など学習の基礎スキル、制作・音楽・運動等を通じて認知能力の向上を支援し、様々な活動に活用できることを目指す。											
	言語 コミュニケーション	非言語（身振り/指さし/サイン/ジェスチャー）・言語（2語文/3語文/名詞/動詞/形容詞/助詞など）・指示理解に関する支援実施 音声指示、物の命名などの課題を通じて、言葉の理解を養う。音声模倣や物の表出的命名などの課題を通じて音声言語の獲得を目指す。 音声言語の獲得が困難な場合には、代替コミュニケーションを指導する。											
	人間関係 社会性	集団スキル・園生活・学校生活・地域生活・社会的スキルに関する支援実施 身体遊びを通じてアタッチメントを形成し、人間関係の基礎を構築する。感覚的な遊びから、ふり、見立て、ごっこ遊びなどの象徴遊びへと発展させることで想像力を養っていく。また、ごっこ遊びなどの関わり遊びからルールや役割のある遊びへの発展を通じて社会性の発達を支援する。気持ち・情動のコントロールや、他者との適切な関わり方を学ぶためのソーシャルスキルトレーニングを必要に応じて実施する。											
家族支援		家庭での困りごとに対するサポート・連絡帳の活用 年2回のモニタリング						移行支援		保育園・幼稚園、関係機関との連携			
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流と情報交換 地域行事やイベントへの参加						職員の質の向上		定期的な研修 毎日のミーティングによる情報共有 各種委員会の設置			
主な行事等		近隣施設・公園へのお出かけ 季節行事…お花見、水遊び、七夕、夏祭り、クリスマス、卒園記念品制作											